

「日本観光振興デジタルプラットフォーム」構築事業 (日本観光振興デジタルプラットフォーム推進コンソーシアム)

実施地域

日本観光振興協会では、これまで自治体の職員が入力した観光情報をデータベースとして管理・運用していたが、自治体の職員がデータを更新する時期には、毎回300項目に及ぶ入力への負担が発生していた。また、日本観光振興協会が管理する観光情報では、データベースが複数に分かれて管理されていることから、観光情報のデータを利用する観光事業者にとって使いにくい状態が発生していた。更に観光情報を活用した「全国観るなび」においても利用者の閲覧数や滞在時間が少ない課題があった。

本事業では、これらの課題を解決するために、異なるデータベースを一元化することで新たな全国観光情報データベースを構築した。これにより自治体の職員が更新時に入力する項目を大幅に削減し、事務処理を軽減。また、全国観光情報データベースを利用する観光事業者に対してもAPIを整備し、データベースへの接続が簡素化する環境を整備して利便性を向上させた。更に「全国観るなび」を「JAPAN47GO」へ刷新し、日本全国の観光資源や魅力を発信するサイトとしてリニューアルした。

全国の観光情報の管理方法を刷新する事業を通じて、今後の観光地の魅力発信やデータの流通を加速化し、更なる観光地のDX推進を図る。

事業目標と成果

① 全国観光情報の仕様の統一化・整備

KGI	実績
・データベースへのニーズ調査、先進事例の調査等に基づき、方向性を検討 ・データベースのデータ仕様、フォーマットの統一化を実施	達成

② 全国観光情報の観光事業者向け利用仕様・環境の整備

KGI	実績
データ利用APIの仕様を検討、構築	達成
KPI	実績
データ利用API導入数 3サービス	達成

③ 全国観光情報の自治体向け登録、更新仕様・環境の整備

KGI	実績
・データ登録、更新の仕組みの簡素化 ・データ登録、更新のAPIの仕様検討	達成

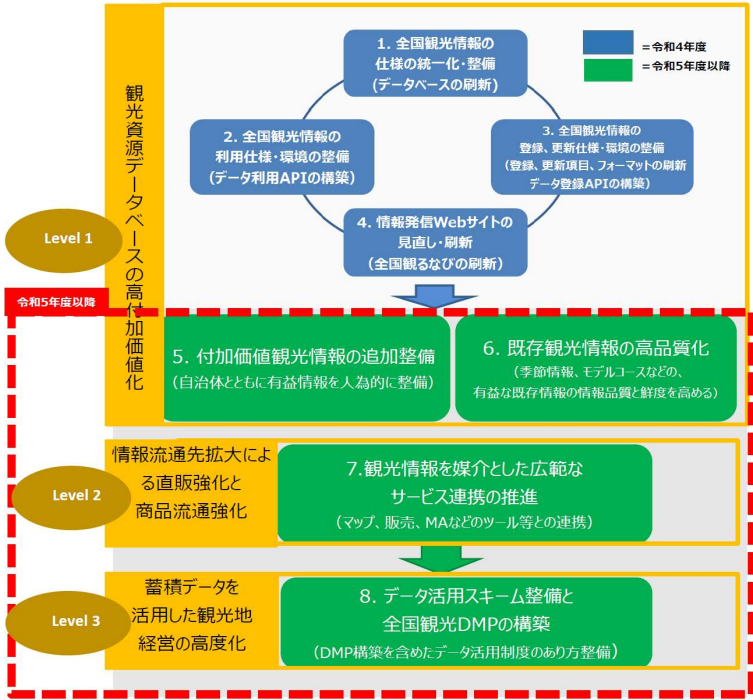
④ 全国観るなびの見直し・刷新

KPI	目標（月間）	実績（3週間）
WebサイトPV数	100万PV	31万PV
平均セッション時間	60秒間	24秒間

実施体制

(公社)日本観光振興協会、(株)マーケティング・ボイス、ソフトバンク(株)

事業内容(概要図)



成果物(新Webサイト)

「JAPAN 47 GO」

<https://www.japan47go.travel/ja>

呼称：ジャパン・ヨンナナ・ゴー



今後目指す姿

長期的に3つのステップを踏みながら、ビジネスモデルを段階的に高度化する

➤ Level1：観光資源データベースの高付加価値化

観光資源情報を充実させることで、情報を効率的に管理・流通させる環境を整備し、データベースの価値を高める。

➤ Level2：情報流通先拡大による直販強化と商品流通強化

全国観光データベースのデータを利用する事業者パートナーの拡大に加えて、地域に対して観光コンテンツを販売できる機能を追加、稼げる地域の創出を目指す。

➤ Level3：蓄積データを活用した観光地経営の高度化

全国観光データベースに加えて、観光統計等のオープンデータから有償のデータを取り入れられる全国観光DMPを通じた全国的なデータ活用の支援。